

福島第一原子力発電所 増設雑固体廃棄物焼却設備の進捗状況について

2020年12月24日

TEPCO

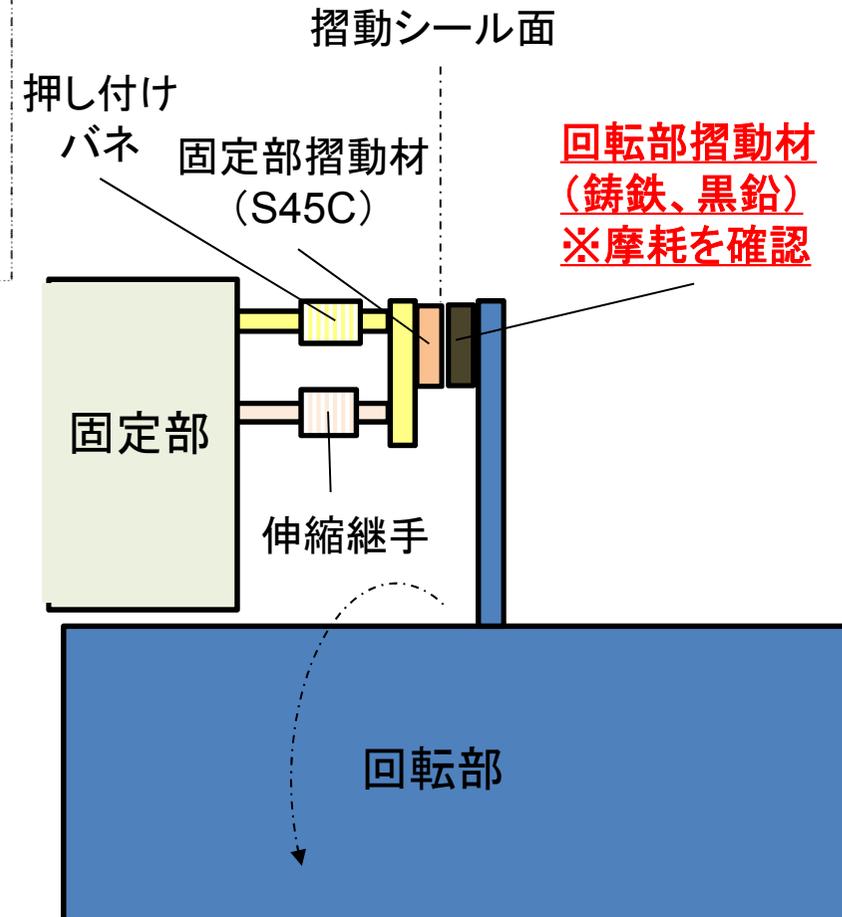
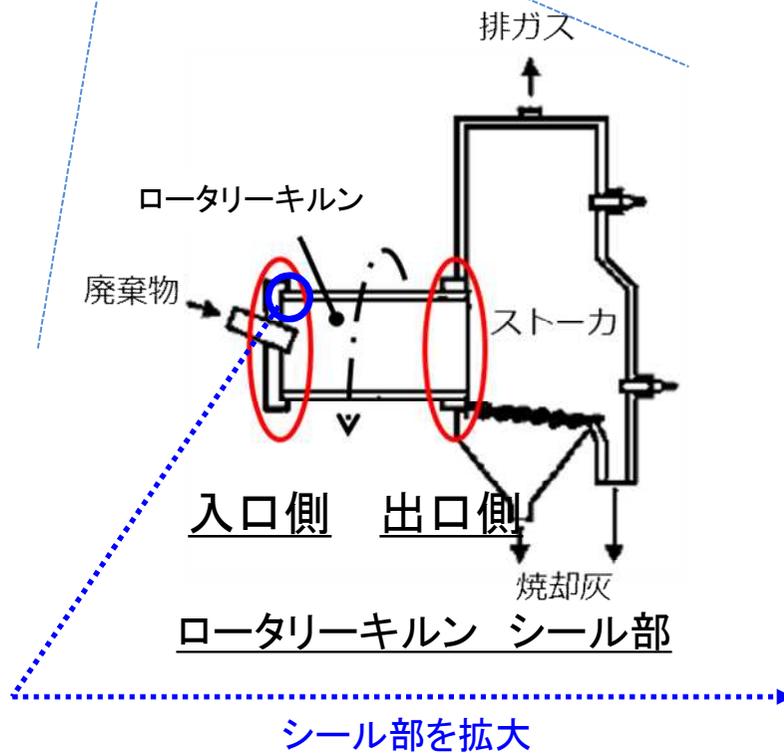
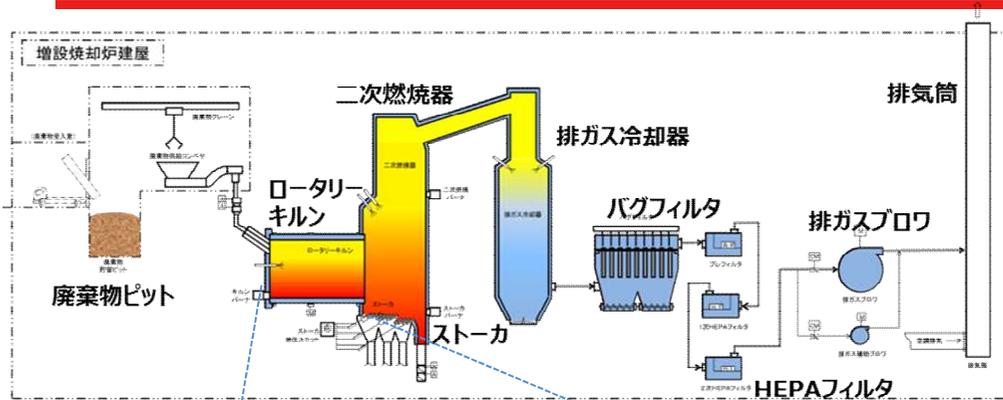
東京電力ホールディングス株式会社

増設雑固体廃棄物焼却設備の進捗状況について



- 増設雑固体廃棄物焼却設備については、2021年3月竣工を目指しコールド試験に向けた系統試験を実施中
- その一つとして、11月17日から22日まで焼却炉内の耐火材を乾燥させるための乾燥焚運転を実施。その後、焼却炉内を冷却する冷却運転を実施した上で焼却炉内部を点検
- 点検の結果、ロータリーキルンシール部（入口側、出口側）の回転部摺動材に、想定を上回る摩耗（設計上約6mm/年に対して10日間で約30mm）を確認
- 原因は、摺動材（回転部、固定部）の段差や傾き、押し付けバネの状況等が考えられるため、原因調査として摩耗が確認されたシール部の点検を実施中
- コールド試験及びホット試験の工程は、原因調査結果を踏まえて見直す予定
- なお、今回は乾燥焚であり焼却処理は実施しておらず、かつ焼却炉内は負圧で空気が流れ込むことから、放射性物質の放出はない

ロータリーキルン シール部①



ロータリーキルン シール部(入口側)模式図
(※出口側も同様な構造)

ロータリーキルン シール部②



ロータリーキルン シール部(入口側)



摺動シール面拡大写真